

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 8-1

問1)

デマリースイーツ(株)は、とてもおいしい苺ショートケーキで有名な会社である(エドワード七世も食したという)。当該会社から当月の原価計算を依頼された。そこで、次の資料により、平均法によって、①月末仕掛品原価、②完成品原価、③完成品単位原価を求めなさい。

(資料)

1. 苺ショートケーキは、スポンジケーキを工程の始点で投入し、生クリームは工程を通じて平均的に塗りたくり、チョコレートプレートは工程の進捗度ちょうど半分の地点で飾り、苺は工程の終点でのせている。

2. 当月の生産データ

月初仕掛品	40個	(0.2)
当月投入	60個	
合計	100個	
月末仕掛品	20個	(0.8)
完成品	80個	

() 内の数値は加工進捗度である。

3. 原価データ

	月初仕掛品原価	当月製造費用
スポンジケーキ	10,680円	16,320円
生クリーム	1,080円	14,520円
チョコレートプレート	0円	16,000円
苺	0円	6,600円
パティシエ等の加工費	2,160円	29,040円

解1)

- ① 月末仕掛品原価 円
- ② 完成品原価 円
- ③ 完成品単位原価 円

氏名

点数

点/100点

各論演習 8-2

問1)

飲料メーカー(株)グルーナーの下記資料により、平均法によって各問に答えなさい。

(資料)

1. 生産データ		
月初仕掛品	60 l	(20%)
当月投入	102 l	
合計	162 l	
減損	12 l	
月末仕掛品	30 l	(80%)
完成品	120 l	

() 内の数値は加工進捗度である。

2. 原価データ

	月初仕掛品原価	当月投入
直接材料費	8,010円	12,240円
加工費	1,620円	21,780円

(注1) 直接材料はすべて工程の始点で投入している。

(注2) 減損は、通常発生する程度のものであり、1 l あたりの評価額は45円である。

【問1】 正常減損が終点で発生した場合の、月末仕掛品原価、完成品原価および完成品単位原価を計算しなさい。

【問2】 正常減損の発生点が加工進捗度50%の場合の、月末仕掛品原価、完成品原価および完成品単位原価を計算しなさい。なお、正常減損品の評価額は全額直接材料費の計算で控除する。

解1)

【問1】 月末仕掛品原価 円完成品原価 円完成品単位原価 円【問2】 月末仕掛品原価 円完成品原価 円完成品単位原価 円

氏名

点数 点/100点

各論演習 8-3

問1) 陶器メーカー(株)グルーナーの下記資料により、先入先出法によって各問に答えなさい。

(資料)

1. 生産データ	
月初仕掛品	60脚 (20%)
当月投入	102脚
合計	162脚
仕損	12脚
月末仕掛品	30脚 (80%)
完成品	120脚

() 内の数値は加工進捗度である。

2. 原価データ

	月初仕掛品原価	当月投入
直接材料費	8,010円	12,240円
加工費	1,620円	21,780円

(注1) 直接材料はすべて工程の始点で投入している。

(注2) 仕損は、通常発生する程度のものであり、1脚あたりの評価額は45円である。

【問1】 正常仕損が終点で発生した場合の、月末仕掛品原価、完成品原価および完成品単位原価を計算しなさい。

【問2】 正常仕損の発生点が加工進捗度50%の場合の、月末仕掛品原価、完成品原価および完成品単位原価を計算しなさい。なお、正常仕損品の評価額は全額直接材料費の計算で控除する。

解1)

【問1】 月末仕掛品原価 円

完成品原価 円

完成品単位原価 円

【問2】 月末仕掛品原価 円

完成品原価 円

完成品単位原価 円